

目次

□巻頭言 日本の地下鉄.....荒井正吾/1

□地下鉄道工事特集

京葉都心線の計画概要.....水前森 口田徳雄  
藤 眞 治 / 3

営団地下鉄有楽町線  
新富町一湾岸間工事概要.....中込宏文/11

□随想 感性化社会.....今野昭三/18

仙台地下鉄南北線仙台駅区  
工事概要と自走式シールド機械.....秦高丸 秦橋逸  
丸 瀧 孝 / 20

仙台地下鉄南北線鍋田工区施工概要  
——大口径加泥シールド工法による急曲線施工——.....榎本 陸  
安板 次宏 藤屋 次郎 / 27

名古屋地下鉄6号線  
国鉄名古屋駅横断工事の概要.....朝生 康  
鳥取 誠 一 / 35  
井戸田 弘

グラビア——最近の地下鉄道工事

土被りの薄い未固結砂層における  
NATMの施工管理.....矢吹 俊一  
高木 山村 光夫 / 41  
——北総線栗山トンネル矢切工区——

建設省における橋梁床版の急速施工の実態.....佐藤佳朗/47

砂スラリー輸送実証試験見学記.....技術部会骨材生産委員会/51

□部会研究報告

建設機械整備実態調査結果.....整備部会実態調査委員会/56

□新工法紹介

KOBELL 杭工法/ACE工法/横引き工法.....調査部会/63

□新機種ニュース.....調査部会/66

□文献調査

高性能小型ローダとローディングアタッチメント/  
ショベル掘削機械の新機種.....文献調査委員会/71

□ISO規格紹介

土工機械に関するISO標準規格(11).....ISO部会/74

□整備技術

建設機械メカトロニクスの整備(第6回)  
クレーンモーメントリミッタ.....整備部会/78

□統計

建設工事受注額・建設機械受注額の推移.....調査部会/81

行事一覧...../82

編集後記.....(西村・横山・端)/84

◀表紙写真説明▶

TG-1600 M トラッククレーン

株式会社 多田野鉄工所

本機は160t×3.3m, 58t×10mのつり上げ性能を有する分解・台車方式(公道走行時)の超大型トラッククレーンである。

① ブームホルダスライド方式を採用。高揚程作業時はホルダでベースブームを前方にスライドさせ17.5~50mブームとし、また広い作業半径を必要とする時は、後方にスライドさせ12.5~45mブームとして使用することにより半径作業と重量物高揚程作業を両立させた。

② 38m無段階チルトのラフィングジブ(オプション)を装着することにより、最大作業半径48m, 最高地上揚程80mと広範囲の作業に威力を発揮する。

③ 分解作業はタダノ独自のホルダ方式と油圧バイオネット方式により短時間, 少人数で、しかも他のクレーンを使用することなく自力で行える。

◀主な仕様▶

クレーン容量	.....160,000kg×3.3m (20本掛)
最大地上揚程	ブーム.....51.0m
	ジブ.....78.0m
最大作業半径	ブーム.....44.0m
	ジブ.....62.0m
エンジン最高出力	.....250PS/1,800rpm